科目ナンバー	PSY-1-002-sn				科目名 心理学						
教員名	堀 正			開講年度	学期	2020年度 前期 単位数				2	
概要	心理学は、実験、検査、調査などの方法を用いながら、人間について科学的に考える学問領域である。 昨今、心の病を抱える人々が増えているといわれ、マスコミではスピリチュアリズムなどを標榜して人々の「不安」をあおっている。 こうしたときにこそ,確実な知識を身につけることが肝要である。 心理学の知識を身につけ、活用することで、こうした状況に対応できるようになってほしい。										
到達目標	最近,企業が求める能力のなかで「コミュニケーション力」が上位に位置づけられている。人の話を聴ける, 自らを的確に表現できることが求められている。しかし,基本的な知識なしにただ「コミュニケーション力」をつけても,自分をアピールすることはできない。 受講生には,インターネットでもいいので新聞を毎日 読む,新聞だけの知識では偏ってしまうので多様な情報を手に入れる,分からないことは知らないで済ま せない,といった作業を実践してほしい。										
「共愛12の力」との	の対応										
識見		自律する力		コミュニケーションカ		カ 問題に対応する力		J			
共生のための知識	哉 〇	自己を理解する力		0	伝え合う力		5	分析し、思考する	力(\supset	
共生のための態度	ŧ	自己を抑	自己を抑制する力		協働する力			材	 構想し、実行する	カ	
グローカル・マイ ンド		主体性		0	関係を構	関係を構築する力		j	実践的スキル		
教授法及び課題の フィードバック方 法	心理学,社会	会心理学だ	などについ		ージなどの	視聴算	覚教相		,ゲシュタルト心球 り心理検査を実施		
アクティブラーニン	ノ グ (\supset	サービス	ラーニング				課題解決型等	 学修		
受講条件 前提 科目	特になし		•								
アセスメントポリ シー及び評価方法	,レポート(6 また,平常点	以下の3つのデータを評価に取り入れる。1.平常点(15%),2.レポート(25%),3.期末試験(60%)。 ただし 、レポート(6月初めにテーマを示して,1ヵ月後に提出予定)の未提出者は期末試験を受けられない。 また,平常点の確定は、各回の講義の最後に配布するコメント用紙によりおこなう。 平常点は前提条件で あり,この条件を満たさない受講生は成績評価の対象としない。									
教材	テキストなどの教材は特に指定しない。担当者が作成した資料を配布する。配布した資料は紛失しない よう,細心の注意を払って保管する。										
参考図書	林洋一・榎本博明(編著)「現代心理学」(北大路書房)、梅本・大山(編著)「心理学への招待」(サイエンス社)、田中平八(編著)「現代心理学用語事典」(垣内出版)、松井豊(編)「対人心理学の最前線」(サイエンス社)、 記摩・青木・近藤・堀(共訳)「パーソナリティ」(新曜社)、芳賀・前原・星・日下・堀(共訳)「矛盾の研究」(三和書房)、堀正(訳)「病院におけるチャイルドライフ」(中央法規出版)、榎本博明・桑原知子(編)「新訂人格心理学」(放送大学教材。放送大学教育振興会)、岡田努・榎本博明(編)「パーソナリティ心理学へのアプローチ」(「自己心理学5」,金子書房)「心理学」(医学書院)										
内容・スケジューノ	l										
1週目											
授業学修内容	心理学の歴史	、心理学の	の研究対象	と研究方法	、心理テス	マトの 5	実施				
授業外学修内 容	講義内容の復	習、実施し	ンた心理テ	スト結果にこ	ついて考え	る			時間数	0.5	
2週目									•		
授業学修内容 '	性格心理学()	人格·性格	・気質の違	い、クレッチ	マーの類型	ॻ論 :	シェノ	レドンの類型語	扁)		
授業外学修内 容	自分の周りの。	人について	類型論を	当てはめてる	考える				時間数	0.5	
3週目											
授業学修内容	性格心理学(ヤ	生格の診断	新と測定、/	パワーポイン	トを使って	、さま	ざまた	は性格テストで	を紹介する)		
授業外学修内 容	性格テストのフ	ホー ムペー	·ジを見て、 	授業以外の	ラストを知	ロる			時間数 (0.5	
4週目											
授業学修内容	ゲシュタルト心	›理学(錯	児に関する	ホームペー	ジの紹介)						
授業外学修内											

容	錯視に関するホームページを各自で探して、内容をみて考える	時間数	0.5					
5週目								
授業学修内容	ゲシュタルト心理学(応用領域)							
授業外学修内 容	レポート内容を学生に周知するので、各自で内容を検討する	時間数	0.5					
6週目								
授業学修内容	精神分析学(創始者フロイトについて。フロイトの理論。無意識、心の構造)							
授業外学修内 容	精神分析学、フロイトに関するホームページを調べる	時間数	0.5					
7週目								
授業学修内容	精神分析学(ヒステリー研究、夢の分析。ユング心理学との違い)							
授業外学修内 容	フロイトとユングを比較しながら学説について復習する	時間数	0.5					
8週目								
授業学修内容	精神分析学(童話と精神分析)							
授業外学修内 容	グリム童話などの内容と精神分析学の理論	時間数	0.5					
9週目	9週目							
授業学修内容	発達心理学(ピアジェの発達理論)	_						
授業外学修内 容	周囲の子どもを観察して、発達について考える	時間数	0.5					
10週目								
授業学修内容	発達心理学(さまざまな実例紹介。ことばの発達など)	•	1					
授業外学修内 容	周囲の子どもを観察して、発達について考える		0.5					
11週目								
授業学修内容	社会心理学(社会心理学が扱う領域)	_						
授業外学修内 容	紹介した社会心理学の領域以外について調べる		0.5					
12週目	,							
授業学修内容	社会心理学(パーソナルスペース、服従、説得行動など)							
授業外学修内 容	学内外でパーソナルスペースのとり方を観察する	時間数	0.5					
13週目								
授業学修内容	社会心理学(ノンバーバルコミュニケーション)	T	_					
授業外学修内 容	ノンバーバルコミュニケーションの重要性を考える	時間数	0.5					
14週目								
授業学修内容	知能の心理学(知能とは。知能テストの紹介)	T	_					
授業外学修内 容	知能テストの歴史的意義について考える	時間数	0.5					
15週目								
授業学修内容	知能の心理学(疑似科学について)	T	1					
授業外学修内 容	世の中にはびこっている疑似科学について考える	時間数	0.5					
上記の授業外学修時間の合計			7.5					
その他に必要な	自習時間	82.5						

Number	PSY-1-002-sn	Subject	Psychology		
	ı	I	T T		

Name	A	Year and S emester	First semester fo r 2020	Credits	2
Course O utline	Psychology is a science discipline which ts and research. Students are requested ciety.	•			